

座標: 北緯41度00分59秒 東経28度58分14秒

ウィキペディア

エジプシャン・バザール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

エジプシャン・バザール（トルコ語: Mısır Çarşısı《ムスル・チャルシュ》、英語: Egyptian Bazaar）は、トルコ イスタンブールのアジア側エミノニュ地区にあるバザールである。

エジプシャン・バザールは、サフィエ・スルタンの命令により1597年から1603年^[1]かけてイェニモスクの一部として造られた。当初イェニ・チャルシュ（New Bazaar）などと呼ばれていた^[1]ようだが、18世紀中頃になるとエジプトから輸入される香辛料等を多く扱うことからムスル・チャルシュ（Egyptian Bazaar）と呼ばれる^[1]ようになる。なお、エジプトからの輸入商品に課税が行われる場所だったのでこの呼称となったとする説^[2]もある。後に、シルクロードを経由して中国やインド、ペルシアなどの商品も売られる^[2]ようになり、香辛料を扱う店が集まっていたことからスパイス・バザール（Spyce Bazaar）とも呼ばれる。バザールの建設当初、およそ100店舗のうち49店舗が香辛料を扱う店であった^[1]とされる。その他の店舗の多くは綿花やキルトを扱う店であった^[1]。



エジプシャン・バザール

エジプシャン・バザールの核をなすL字型をしたアーケードは、長辺が約140mで片側に23軒^[1]の店（両側で46軒）、短辺が約110mで片側に18軒^[1]の店（両側で36軒）、交差部に6軒^[1]の店があり、合計で88軒の店^[1]が並んでいる。またTahmis Sokak側に18軒の店がある。これらの店が面する通りは丸屋根のアーケードで覆われている。

目次

アクセス

イスタンブールの伝統的市場

中近東の香辛料市場

参考文献

アクセス

- トラム T1線 エミノニュ（Eminönü）停留所の南西 約100m
- 近郊鉄道 マルマライ シルケジ駅の西 約400m
- トルコ国鉄 シルケジ駅の西 約400m

イスタンブールの伝統的市場

- カパルチャルシュ（グランド・バザール）
- ムスル・チャルシュ（**エジプシャン・バザール**）

中近東の香辛料市場

- **エジプシャン・バザール**（トルコ、イスタンブール）
- スパイス・スーク（アラブ首長国連邦、ドバイ）

参考文献

1. ^{**a b c d e f g h i**} Mısır Çarşısı (公式ページ), Our History
<http://www.misircarsisi.org/sayfalar.asp?LanguageID=2&cid=236&id=252>
2. ^{**a b**} Lonely Planet, Spice Bazaar
<http://www.lonelyplanet.com/turkey/istanbul/sights/markets-bazaars/spice-bazaar>

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=エジプシャン・バザール&oldid=61606150>」から取得

最終更新 2016年10月20日 (木) 14:25（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。